



2018 KIKUCHI 国際交流フェスティバル

2018 Kikuchi City International Exchange Festival

JCI 主催 一般社団法人 菊池青年会議所

夢にときめけ、今を楽しめ、輝け菊女 Smile

KIKUCHI GIRLS' HIGH SCHOOL



「きくち女子舞」



「創作ダンス」



「応援団演舞」

2018 KIKUCHI 国際交流フェスティバル & 菊池女子高等学校体育発表会

Vol.55 9月定例会

平成30年11月1日号

きくち

(題字/旭志小学校6年 清田 実那さん)

議会だより

お知らせ

議会報告会を開催します

P20

一般質問

14人が市政を問う!

P9~16

常任委員会報告

P4~7

可決

平成30年度一般会計補正予算

P3

平成30年 第3回 定例会

この定例会では、平成30年度菊池市一般会計補正予算をはじめ、特別会計補正予算、条例など28議案が提案され、慎重に審議しました。追加議案として議決案1件が提出されました。また、報告が5件と、追加の報告が1件ありました。

審議の結果、原案のとおり可決・承認・認定しました。主なものは以下のとおりです。
開催日：8月28日（火）～9月21日（金）

平成30年第3回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

議案番号	議案名	結果
議案第68号	菊池市特別養護老人ホームつまごめ荘移譲法人選定委員会条例の制定について	原案可決
議案第70号	菊池市部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第83号	平成29年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第84号	平成29年度菊池市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第85号	平成29年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第86号	平成29年度菊池市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第87号	平成29年度菊池市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第88号	平成29年度菊池市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第89号	平成29年度菊池市地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第90号	平成29年度菊池市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第94号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	原案可決

賛否表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 除は除斥

議案	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数 賛成 反対	田中教之	福島英徳	緒方哲郎	後藤英夫	平直樹	東奈津子	坂本道博	水上隆光	猿渡美智子	松岡讓	荒木崇之	工藤圭一郎	城典臣	大賀慶一	水上彰澄	二ノ文伸元	泉田栄一朗	木下雄二	山瀬義也
			議案	対	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	可決	17対2	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	認定	15対4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	認定	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	認定	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	認定	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	認定	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	認定	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号	認定	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	認定	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

上記以外の議案は、全会一致で可決しました。

平成30年度一般会計補正予算（第4号） 可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億6,601万6,000円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ297億5,211万7,000円とするものです。

主な補正内容

○市民広場再整備事業 5,016万4,000円

市民等の交流の場として多くの市民や観光客が集い、観光情報を発信する拠点として整備することで、中心市街地への回遊性を高め、賑わいの創出と活性化を図るものです。市民検討委員会で行きまとめた整備内容をもとに、2期工事に着手します。また、広場内にある民有地を購入し、平成31年3月の供用開始を目指して整備を行います。



▲市民広場再整備事業の完成イメージ図

○防災管理費 701万9,000円

災害時などの情報を速やかに市民へ周知できる体制を確立し、災害に強いまちづくりを目的とするもので、情報伝達や備蓄物資の配布等を速やかに行うことができるようになり、防災力の向上につながります。主な内容は、難聴地域解消のための防災行政無線スピーカー増設工事、災害時の備蓄物資配布を迅速に行うための防災倉庫移設設置工事などです。

○移住推進事業 350万円

近年、都市部から地方への移住希望者は増加傾向にあり、その希望者を菊池市に取り込むためには、ニーズに応じた体制整備、条件整備、情報発信が必要であり、働く場所の創出の観点から、サテライトオフィスの誘致等が必要です。そこで、本市の人口減少曲線を緩やかにし、地域活性化につなげるため、市外からの移住者の受け入れ、また若年層の転出を抑制し、本市での定住化を目的とするものです。主な内容は、空き家改修補助金、空き家活用奨励金です。

○特別養護老人ホーム検討委員会経費 252万3,000円

本市の行政改革による菊池市特別養護老人ホームつまごめ荘民営化実施計画に基づき、移譲先の社会福祉法人を決定し、市民（利用者）への持続的・安定的なサービスの提供を図るものであり、移譲法人選定委員会において公正・公平な社会福祉法人選定が行われるものです。経費の内容は、特別養護老人ホームつまごめ荘移譲法人選定委員会（5回開催）の報酬、旅費、委託料です。

常任委員会報告

総務文教常任委員会

委員長／水上 隆光 副委員長 東 奈津子 委員／田中 教之、松岡 譲、工藤 圭一郎、城 典臣、大賀 慶一

議案第70号 菊池市部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定について 可決

平成28年12月に部落差別の解消の推進に関する法律が施行したことに伴い、条例の一部を改正するものです。

委員 「今回の法律の施行により、条例改正を行った自治体は県内でどれくらいか」
執行部 「法律施行を受けて条例を新たに施行、あるいは改正を行った自治体はない」
委員 「改正を行った県内自治体がない中で、あえて本市で条例改正を行う理由は」
執行部 「県外では改正を行った自治体もある。部落差別が現存していることを国も認めており、条例の目的に加えるため条例改正するものである」

反対討論 「反対の理由は、本条例の改正によって第1条の目的の中に部落差別の解消の推進に関する法律が加えられている点である。社会問題としての部落問題は基本的には解決し、行政施策や教育、啓発、相談は人権尊重と民主主義の憲法に基づいて、すべての住民に対する一般施策として公平・平等に充実させることが、自治体の本来の責任である」

賛成討論 「今回の条例の改正は、部落差別の解消の推進に関する法律の施行に伴い改正するものであり、様々な人権問題に対して窓口をつくり、国、県、関係団体と連携を図りながら実態調査等を行うということであり、しっかりやっていただきたい」との賛成討論がありました。

採決の結果、議案第70号については賛成多数により可決すべきものと決定しました。

議案第74号 菊池市立体育館条例及び菊池市営グラウンド条例の一部を改正する条例の制定について 可決

旧迫水小学校の財産譲渡に伴い、菊池市立迫水体育館及び菊池市立迫水グラウンドを社会体育施設として利用廃止し、並びに迫間グラウンドを社会体育施設として利用開始することに伴い、条例の一部を改正するものです。

委員 「今回、迫間グラウンドを条例に加えた理由は」
執行部 「今までは、地元による管理及び利用が行われていたが、高齢化等により管理が厳しくなった。また、他の地域からの利用要望もあっているため」



▲迫間グラウンドの現地調査の様子

福祉厚生常任委員会

委員長／猿渡 美智子 副委員長 泉田 栄一朗 委員／福島 英徳、水上 彰澄、二ノ文 伸元、山瀬 義也

議案第68号 菊池市特別養護老人ホームつまごめ荘移譲法人選定委員会条例の制定について 可決

菊池市特別養護老人ホームつまごめ荘の民営化に当たり、移譲法人を選定することを目的として設置するものです。

委員 「委員会の委員は10名以内とあるが、1. 学識経験者、2. 法人の経営に関し専門的知識を有する者、3. 社会福祉事業に関し知識及び経験を有する者、4. 地域を代表する者、5. つまごめ荘入所者家族会を代表する者、6. 関係機関及び関係団体を代表する者までは各1名ずつで、7. その他市長が適当と認める者が4名ということか」

執行部 「1から6までで10名以内を考えている」

委員 「ふじのわ荘、こすもす荘のときの選定委員会条例と比べて、選定委員会の委員で変わったところはあるか」

執行部 「今回の条例では、新たに学識経験者を入れている。これは、福祉等の専門学科のある大学の教授または准教授等を考えている。また、新たに関係機関及び関係団体を代表する者も入れている。これは、老人福祉施設の協議会や地元のケアマネージャー等を考えている」



経済建設常任委員会

委員長／坂本 道博 副委員長 後藤 英夫 委員／緒方 哲郎、平 直樹、荒木 崇之、木下 雄二

議案第69号 菊池市かわまちづくり計画検討協議会条例の制定について 可決

かわまちづくり支援制度は、住民・市町村・河川管理者が一体となって、協力しながら計画を作成し、水辺を利活用し、河川空間とまちの空間が融合した良好な空間を形成することで、地域活性化を推進していくものです。

委員 「かわまちづくり会議があっっているようだが、場所は特定されているのか」

執行部 「まちあるき第1回会議等のワークショップを開催しているが、そのなかで観光資源など活性化につながるようなまち空間と水辺とをつなぐような場所を検討している。現段階では玉祥寺と御所通りの間の迫間川が案として挙がっている」

委員 「迫間川が対象になれば、上流には竜門ダムがあり、下流での洪水などを含めてチェックをしておかないと、連絡の遅れなどで人災等があれば大変なことになるので、そういう面でも詰めておく必要がある」



予算決算常任委員会

委員長／平 直樹 副委員長 松岡 譲 委員／議長を除く17名

議案第76号 平成30年度菊池市一般会計補正予算（第4号） 可決

●市民広場再整備事業の公有財産購入費 4,986万円

事業区域内にある東側民有地4,617平方メートルの購入費であり、今回、用地買収のめどがたったことと、本年度が社会資本整備総合交付金、菊池中心市街地リノベーション事業の最終年度であり、変更申請により用地取得が認められれば2分の1が国庫補助対象となることから、今回補正するものです。

委員 「本年度が事業期間の最終年度となるが、どのような形での整備を考えているのか」

執行部 「当該地は試掘調査の区域内であるため、砂利駐車場として一体的に整備する計画である。菊池中心市街地リノベーション事業の変更が認められれば、参道側の一部に緑地スペースを設ける計画である。工事費については、継続費の範囲内で対応する」

●がけ地近接危険住宅移転事業補助金 537万2,000円

がけ地に近接した危険地域にある住宅を解体し、安全な場所に建築するための補助金です。

委員 「本市でその地域に該当する住宅が何戸あるのか」

執行部 「危険地域というのは土砂災害特別警戒区域や災害危険区域など区域で指定しているが、件数については把握できていない」

委員 「菊池市は急傾斜地が非常に多く、命にかかわることであり、今後は把握のための調査をするべき」

執行部 「担当課としてしっかり把握するように努めたい」

議案第83号 平成29年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定について 認定

委員 消防費の防災管理費について、「自主防災組織が設立されていない地域への支援はどのように考えるか」

執行部 「地域の方々や消防団の協力をお願いし、自主防災組織設立に向けた働きかけも行いながら支援していきたい」

委員 図書館の閲覧用イスについて、「8月10日の入札時点では、メーカーのみが大型契約があったことを認識していたのか」

執行部 「お見込みのとおりである。しかしながら、入札前日の確認に対し、メーカー日本支社が海外本社に確認せずに大丈夫との回答を行っており、それを受け、入札を実施した」

委員 「もし、納品できなかつたイスだけを再度入札した場合、今回と同じぐらいの金額と考えていいのか。変更により損失を与えていないと理解していいのか」

執行部 「今回のものを再度別の形でやったとしても結果は同じだったと思う。意匠的なもので選ぶことになるので、代替品を受注者が選ぶという行為もできず、デザイナーが新たに選ぶことになる」

委員 生活保護について、「生活保護受給者への自立支援の手立てとしてはどのようなものがあるか」
執行部 「担当のケースワーカーが定期的な訪問をして、日常指導や就労支援員と一緒に就労支援を行っている。また、安定した職業について保護を廃止した場合、税や社会保険料の支払いも生じ、脱却直後は不安定な生活になるので、再び保護に至ることを防止することを目的に就労自立支援金を給付しており、平成29年度は9件であった」

委員 桜の里プロジェクト事業について、「地域の方の意見を聞いて植樹してあると思うが、管理についての協定や覚書はとってあるのか」
執行部 「維持管理についての覚書等は取り交わしていない」
委員 「10年先、20年先の維持管理については、責任の所在を明確にするために地域との覚書は必要である。将来、財政が厳しくなるのはわかっており、桜を植えていくのは良いが、それを税金で管理していくのは大変な状況になる」
執行部 「今後検討する」

議案第84号 平成29年度菊池市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

委員 「不納欠損額と収入未済額は減少傾向にあると思うが、収入未済額が5億6,935万655円とかなり高額である。これについてはどのような取り組みを行っているのか」
執行部 「国保税の収納率は今まで低かったが、年々上がってきている。これについては、滞納処分の強化を行いながら、納税者の生活状況を把握した上で、執行停止したり、不納欠損したりしながら、きちんと管理していくことにより、滞納繰越額の圧縮を図っている。また、国保予算により嘱託職員を1名雇って、調査の充実を図りながら滞納整理に当たっている」

議案第87号 平成29年度菊池市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

委員 「収入未済額として残っている金額を次年度不納欠損にならないようにするために、どのようにしているのか」
執行部 「滞納対策については、水道と併せて進めているが、督促状は定期的に送付し、滞納月2期以上は催告書を毎月発送している。また、給水停止実行日を決めて1週間前に通知を発送し、支払いがない場合は停水処分をしている。ただし、水道が引かれていないところは、電話や訪問により徹底的に実施している」

議案第92号 平成29年度菊池市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について **可決・認定**

委員 「今回141万6,000円を不納欠損で上げてあるが、これは債権の放棄なのか、時効による援用なのか」
執行部 「時効の援用ではない」
委員 「私債権なので債権の放棄であれば、債権管理条例の16条において、議会でそれを報告しなければならないとなっており、このままだと決算の認定はできない」

その後、執行部より「菊池市債権管理条例第16条第2項の規定により、水道使用料を不納欠損したときは議会に報告することが必要であったため、議会に報告させていただく」との申し出があったため、議案第92号については委員会分科会の審査を中断し、本会議で債権の放棄について報告を受け、委員会分科会を再開して、審査を再開しました。

委員 「今回の件は議会の指摘で課題が見つかった。債権管理条例や債権管理マニュアルがあるのに、それを職員が熟知していないことが問題である。全庁的にしっかり研修し、債権管理を行うこと」

議案第83号から議案第90号については反対討論があり、採決の結果、賛成多数により可決・認定すべきものと決定しました。また、それ以外の議案については、討論もなく、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決・認定すべきものと決定しました。

【提 言】

- 1 本市においては、小中学校通学路合同点検等が実施され、子どもたちの安全確保に向けた取り組みが実施されているが、通学路の安全確保に当たっては、「交通安全」「防犯」「防災」の3つの観点から対策を講ずることが重要であり、保護者・地域はもとより、警察・道路管理者等関係機関と緊密な連携を図りながら計画的・継続的に通学路の安全確保のための取り組みが必要である。執行部には、一層の安心・安全な通学路確保の取り組みを推進していただくよう求める。
- 2 豪雨災害や台風、地震、津波など大規模災害が多数発生し、各地に大きな被害をもたらしている。熊本地震により被災した本市においても災害に強いまちづくりは喫緊の課題と考える。「公助」の活動には限界があり、「自助」・「共助」の発想に基づいた地域における自主防災行動力を高めていくことが重要である。
また、災害情報伝達手段として、防災無線や防災アプリ、防災メール等による取り組みがなされているが、電力消失時における伝達についても早急に検討すべきである。
- 3 つまごめ荘では介護士、保育園では保育士の人材不足が発生している。その都度応募はかけているということだが、応募者を待つだけでなく、いろんなところから情報を取り入れながら、少しでも多くの人材が確保できるよう努力をし、利用者が不便を感じないように心がけていくこと。
- 4 平成29年には総額の2分の1を補助して菊池郡市医師会立病院にマンモグラフィ装置が導入され、平成30年度から5年間は乳がん検診の無料クーポンの対象者を広げている。今後は、よりたくさんの方に受診してもらうよう幅広く啓発していくこと。
- 5 昨年、提言していた市有林の適正管理と林業振興については、専門職の雇用は今のところできていないという状況である。平成36年度からの森林環境税の導入を前に平成31年度から森林環境譲与税が1,600万円配分される予定とのことなので、災害防止の観点からも、改めて専門職の雇用や森林管理システムの充実、併せて山林管理のためには地籍調査も連携して推進すること。
- 6 予算がないからという理由で流用を繰り返しており、結果、それ以上に不用額が残っているものがある。流用については、様々な事情があると思うが、原則、補正予算で対応するべきであり、予算の執行においては多額の不用額が残らないよう再確認を行うこと。また、予算を立てる際には、それらのことを繰り返さないように次年度に反映していくこと。
- 7 徴収業務というのは、市の根幹を成すものであり、今回の議会への債権放棄の報告の失念は初歩的なミスと言わざるを得ない。公平公正な徴収をする上で市民の信頼を失墜させるものである。債権管理条例は、債権管理事務の適正化を図り、もって公平かつ公正な市民負担を確保すること及び健全な行財政運営に資することを目的としている。収入未済額は合計で約13億円に上っており、厳しい財政状況の中、安易に不能欠損処分ということがないように、債権管理を研修して、しっかり債権徴収を行うこと。

上記、提言事項のほか、予算決算分科会審査を通じて各委員からの指摘や意見を踏まえ、今後の予算執行に十分反映することを執行部に要望しました。

福祉厚生常任委員会所管事務調査報告書（抜粋）

1. 前回の所管事務調査において、委員より「平成28年に民営化した南関町の延寿荘について検証した方がよい」という意見があったので、8月9日の所管事務調査では、延寿荘のケースについて、事前に提出した質問事項に基づき、執行部からの説明を受けました。

執行部より「延寿荘の場合、募集説明会には3法人が来られたが、実際に申し込みがあったのは1法人であり、選定委員会でのプレゼンテーションを経て、その法人に決定した。譲渡額は、築27年を経過していたことから建物については無償で、土地については不動産鑑定による評価額で譲渡した。起債の償還は済んでおり、補助金の返納もなかった。正規職員13名全員が本庁へ異動となり、その後1名が退職された。臨時職員42名については、事前面談を行い、ほとんどが移譲先に継続雇用となった。移譲後、何ら問題はおきていない」等の説明がありました。

また、つまごめ荘職員へのアンケート調査について、執行部より「正規職員については、本庁への異動希望が32名、条件次第では移譲法人への就職を希望するのが5名、退職希望が5名、なお、そのうち2名は定年となっている。また、移譲後につまごめ荘への派遣を行う場合は、行ってもよいと答えた職員は16名である。臨時・嘱託職員については、つまごめ荘への再就職希望が11名、条件次第では残りたいと答えたのが28名、退職希望が9名である」との説明がありました。

2. その後、所管事務調査を8月16日に開き、これまでの所管事務調査における議論をもとに、9項目の要望事項を取りまとめ、同日、要望書を市長へ提出しました。

要望事項の内容については、次のとおりです。

- ① 民営化後も、入所者が人として尊重される介護が行われることが肝要であり、これまでの実績と合わせて、入所者中心の理念を持つ社会福祉法人を選定すること。
- ② 職員の急激な異動によって入所者の安心が損なわれないように、職員の派遣等も含め十分な配慮を行うこと。
- ③ 正規職員の処遇については、市職員としての身分保障を基本に、本人の納得と了解が得られるものにする。また、新しい業務に適應することの困難さを配慮し、サポート体制を整えること。嘱託職員及び臨時職員については、本人の希望に沿った再就職ができるように対応すること。
- ④ 譲渡額の決定に関しては、市民の大切な財産であることに鑑み、不動産鑑定額を参考に、起債の償還と補助金の返還を賄える額とすること。
- ⑤ 市民に対しても、つまごめ荘民営化の説明を行うこと。
- ⑥ 譲渡先の選定にあたっては、公正さと透明性を旨とし、選定の評価基準や評価内容を公開するとともに、選定の過程をその都度議会に報告すること。
- ⑦ 選定の評価が同等である場合には、菊池市の社会福祉法人を優先すること。
- ⑧ 移譲先事業者選定委員会の設置にあたっては、公正な判断のために、中立の立場にある委員を選定すること。
- ⑨ 移譲後も、つまごめ荘の運営が適正に行われていくよう監督・指導すること。

以上の要望事項に加えて、直営維持を望む声もある中に痛みを伴っての民営化であることを認識し、要望内容を今後の取り組みに反映されるよう申し添えて、市長に対して要望書を提出しております。

以上をもって、所管事務調査の報告とします。

福祉厚生常任委員長 猿渡 美智子

14人が市政を問う

一般質問

質問者	質問事項	P
①城 典臣	1. 菊池市の観光振興について 2. 市役所における障がい者雇用について 3. 東京オリンピック・パラリンピックについて 4. 福祉施策（子育て・介護）の課題について 5. ふるさと納税について	10
②東 奈津子	1. L G B Tについて 2. 通学路等の安全対策について 3. 児童館について	10
③泉田栄一郎	1. 西郷どんを活用した観光戦略について 2. 職員派遣研修について 3. 児童・生徒の姉妹・友好都市との交流について 4. 児童虐待防止対策について 5. 結婚新生活支援事業について	11
④水上 隆光	1. 旭志地域の人口増につながる国道325号沿線の開発について 2. 獣医について 3. 市道について	11
⑤後藤 英夫	1. 障がい者施策について 2. 史跡について 3. 道路整備について 4. 交通安全について	12
⑥荒木 崇之	1. 中央図書館の備品購入について	12
⑦福島 英徳	1. 健康推進まちづくりの取り組みについて 2. 菊池市への観光客をいかにして増やしていくか	13

質問者	質問事項	P
⑧平 直樹	1. 第2次菊池市総合計画後期基本計画について 2. 児童虐待防止について	13
⑨坂本 道博	1. スマート農業について 2. 米・食味コンクールについて 3. 稲乾田直播栽培について 4. 道路整備について	14
⑩緒方 哲郎	1. 第2次菊池市総合計画後期基本計画における農業施策について 2. 菊之池小学校校舎増床工事について 3. 花房中部2期地区畑地帯総合整備事業について 4. 子どもの遊び場について	14
⑪猿渡美智子	1. つまごめ荘民営化について 2. 学校の猛暑対策について	15
⑫大賀 慶一	1. 特定外来生物と外来動物について 2. 市発行の刊行物の集約化について	15
⑬田中 教之	1. ICT インフラ戦略的活用による地方創生について	16
⑭木下 雄二	1. 竜門ダム市町村交付金について 2. 軽トラ朝市について 3. 各種スポーツ施設等について 4. 公園整備について 5. 地籍調査について 6. 水迫地区の活性化について	16

議会をインターネットで!!

菊池市議会ホームページより
議会録画中継がご覧になれます。

菊池市の観光振興について



軽トラ朝市が終了したが今後の展開は

城 10年間続いた軽トラ朝市が突然中止された。市民も出店者も残念な思いではないか。市の観光振興や活性化に逆行することである。市として朝市の復活など今後の活性化の展開を後押しする考えはないか。

市長 今、商工会の若手の皆様も、新たな企画提案を検討されている。この新しい事業についても、長続きするということは非常に重要な要素であり、なるべく多くの商工関係者を巻き込み、必要であれば、市民の声も生かしながら「まちなかの賑わい」につながる持続性のある事業を期待している。

そのような事業提案が

あれば、市としても、できる限りの支援、協力をしていきたい。

東京オリンピックの聖火リレーを招致できないか

城 地方はオリンピックに対して盛り上がりがないと考える。そこで菊池市に聖火を走らせてはどうか。

教育部長 ルートは、東京2020オリンピック聖火リレー熊本県実行委員会が非公開でルートの選定を行い、県では招致希望調査は行わないとのことであるが、先般、県庁で東京オリンピック・パラリンピック担当

者説明会が行われた際、会議の中で、聖火リレーの招致を希望する旨を県内で最初に手を挙げた。しかし、県から「聖火リレーは、県内の多くの自治体都希望しており、全ての市町村を回ることには大変難しい」とのことであった。こういった状況ではあるが、今後、本市で開催できるような働きかけを



▲7月に終了した軽トラ朝市

行っていきたい。

城 返礼品を品物ではなく、高齢者の見守りなど、サービスの提供を考えて、リピーターになってももらえるよう考えられないか。

政策企画部長 リピーターにつながる返礼品については、農業体験やイデベンチャーなど、思い出に残る菊池ならではの体験型メニュー、また故郷から遠く離れて暮らさ

れていて、仕事、家庭の事情で帰省できない方にかわって、空き家の管理やお墓のお掃除などを行うサービスの提供も検討をしている。

現在、郵便局の「見守りサービス」について、日本郵政株式会社との具体的な協議も行っており、できるだけ早い時期に導入したいと考えている。

LGBT（性的マイノリティ）について



東 行政窓口での適切な対応を行うために、対応指針の作成と職員研修を行う必要があると思うがどうか。

経済部長 研修等については、当事者が抱える悩みや生活上の困り感について、職員が理解し、行政職員として基礎知識や、相談上で気をつけることなど、行政職員に求められる対応や支援のあり方について、職員を対象とした研修を行い、職員の意識の向上を図りたい。

また、今後、窓口対応の指針となるようなマニュアルの作成も必要となると考えている。

東 行政の取り組みを進めていく上で、行政に関する書類の不要な性別欄の削除や、公共施設での性別を問わず誰でも利用できるトイレの設置をすべきと思うがどうか。

総務部長 今後、性別記載欄の考え方を示した上で、各部署で取り扱う申請書や届出書などの書類の性別記載欄の有無に関する調査を実施して、審査などに不要と考えられるような性別記載欄は見直しを行っていきたい。

また、市庁舎内の多目的トイレについては、車椅子の表示のみとなっている。その他の施設も含めて、他市町村の先進的な取り組みを参考にしながら取り組んでいきたい。

通学路の安全対策について

東 菊池市でも国の補助制度を活用し、通学路等における危険なブロッ



ク塀の撤去などの対策を早急に講じるべきと考えるがどうか。

建設部長 国の社会資本整備交付金については、現在、要望を行っている。

市長 通学路の安全確保における今後の対策は、何よりも子どもたちは本市の宝であるため、子どもの安全ということを一番に考えていきたい。

「菊池市通学路防犯交通安全プログラム」において、着実に実施をしていきたい。特に、必要な箇所があれば、グリーンベルト等の見える化により、効果的な対策を行い、あわせて、防犯灯、防犯カメラなど、総合的な通学路の安全対策について、積極的に取り組んでいきたい。

泉田 栄一朗議員

「西郷どん」を活用した観光戦略を！



池市、龍郷町のつながりを多くの方に知っていただくために、どのような形で周知していけるのか検討していきたい。

児童虐待防止対策について

泉田 大河ドラマ「西郷どん」が放送中の今、西郷隆盛が菊池一族の末裔であるという史実を観光戦略としてアピールするべき。現在、整備中の七城町西郷区の西郷南州公園に記念看板の設置を考えているか。

経済部長

今後は西郷家と菊池一族との歴史的な背景を知ることができ、観光スポットとして、史跡めぐりやウォーキングコースに組み入れるなどとともに、観光パンフレットやホームページなどによりPRを継続していきたい。

教育部長

歴史を伝える看板については、現在増永城跡には史跡の説明板と西郷隆盛との関係性を紹介する説明板が設置されているが、激動の時代を生きた西郷隆盛と菊



▲9月24日にオープンした西郷南州公園

とで、虐待を含めた支援が必要な児童の早期発見、適切な保護や対応を行っている。

児童・生徒の姉妹・友好都市の交流について

泉田 本市が結んでいる姉妹・友好都市と子どもたちが交流による体験をできるように支援する考えがあるか。

教育長

小中学生の感受性が豊かな時期に、異なる文化、歴史、習慣等に触れることは、大変重要なことと考えている。生まれ育った菊池市を再認識しながら、同世代の子どもたちと友好を深めるということは、青少年のリーダーとしての資質の向上のためにも有効な手段であると思う。しかし、さまざまな課題もあるので、関係団体とも相談していきたい。

水上 隆光議員

旭志における国道325号沿線の開発について



は、林地開発許可等が必要になるので、開発等の相談がある場合は、必要に応じて現地を確認したい。

獣医について

水上 本市出身の獣医を育てるべきだと思う。

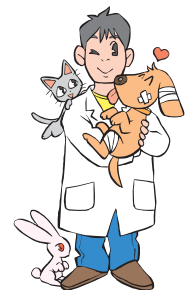
水上 農用地区域全体見直しは、地域の声を聞きながら進めるべきと思うがどうか。また、325号沿線に農用地外の地域がある。そこを視察してほしいか。

経済部長

全体見直しでは、優良農地の保全と同時に本市の振興を図るため、現在、抱えている人口減少問題などを視野に入れた見直し計画を地元の意見を踏まえながら県と協議していきたい。

提案があった地域は、

農振農用地区域外の農地であり、宅地転用が可能と思われる地域である。農地転用の際には農地法による転用許可が必要であり、また、山林の開発



現時点では考えていないが、まずは今後の獣医師の動向等について注視していきたい。

市道について

水上 市道中原森北2号線の排水路のガードレール設置の進捗はどうか。この市道は河原、四町分、旭志北部の利用が非常に多い大津方面に向かう道路になっている。各区長会からも要望が上がっており、設置を急ぐべきと思うが。

経済部長

修学資金として、本県に獣医師確保修学資金貸与事業がある。これは、大学卒業後に県内で産業動物獣医師や県の公務員獣医師として将来働くことを希望する獣医学生に対し、公益社団法人熊本県畜産協会が事業主体となり、修学資金を貸与されるものである。開業1年目の獣医師に対する助成については、

建設部長

現在、現地調査を終えて、関係部署での内部調整を行い、カーブ等の危険箇所については、土木課にてガードレールの設置を行うこととしている。

今後は、施工に際して排水路の管理者と事前協議を行い、その後、工事に着手していく予定である。

障がい者施策について



後藤 本市の業務委託先や請負業者の障がい者雇用率は把握しているか。また、本市独自の評価制度等はあるのか。

総務部長 現在のとこ、本市の業務委託先や請負業者の障がい者雇用率についての状況把握は行っていない。評価制度については、菊池市工事入札参加者資格審査の格付基準において、現在、市内独自基準の導入を検討している。その中に市内事業者の障がい者雇用の向上につながるような加点制度を取り入れていきたい。

後藤 バリアフリー部分の巡視体制や所見についてはどうか。
本市職員の障がい者雇用率の維持は当然だが、

民間企業の障がい者雇用の促進につながるような施策を行ってほしい。

総務部長 公共施設の日常的な点検や保全業務は、建物の所管課において行っているが、今後とも障がい者だけでなく、施設利用者が安全に安心して利用できるよう適切な管理に努めていきたい。

また、本格的な少子高齢化社会の到来により、今後一層のきめ細やかな配慮が必要であるため、各種計画に基づき公共施設等のユニバーサルデザインなど施設の環境整備の促進に努めたい。

史跡について

後藤 本市の下西寺区にある「右京・左京の墓」は、菊池の歴史を語る上で重要な遺跡である。地元の方々にとって、心の拠り所であり、とても大切にされているが、本市の認識と現状を示せ。菊池遺産認定を視野に入れた、より良い形での保存に向けて、最大限の努



▲右京・左京の墓

力を行うよう要望する。

教育部長 中世の菊池一族の刀を鍛えた延寿は、一族の武力を支えた存在であると考えている。現在の「右京・左京の墓」が延寿の墓であったと伝えられており、地区の方々が大事に守ってこられたと認識している。現状としては「右京・左京の墓」は、西寺の八坂神社に隣接している民家の敷地内に所在しており、形の違う石を組み合わせた五輪塔と呼ばれるお墓で、中世によくつくられたものである。台座の上にも並んで安置され、現在でも地域の宝として、地元の方々から非常に大事にされていると伺っており、これまでどおり地元を期待している。

力を行うよう要望する。

中央図書館の椅子が1脚10万円？



荒木 不特定多数の方が利用する図書館（公共施設）に1脚10万円もかける必要があるのか。

教育部長 中央図書館の備品は、内部空間デザインのの一つを構成するものとなっている。生涯学習センターのコンセプトとして、ヨーロッパの広場のように、市民が気軽に集まる活気のある場所を目指したいとして、そのデザインや具体的取り組みについて、市民にも説明しながら進めてきた。その上で、採用したデザインに沿って備品購入をした。

空間デザイン、そして世界の一部デザインによる家具それぞれが、図書館を訪れる人々に世界



▲1脚約10万円の閲覧用椅子

レベルの感性を伝え、未来を担う子どもたちがグローバルなセンスを備えることにつながるものと考えている。お尋ねの椅子は、中央図書館の中心となるエリアにあるサークルテーブル及びワーキングスペースに設置するもので、図書館の象徴的な場所であるため、意匠的に重要なものであると判断して選定した。

荒木 入札において業者の都合（仮押さえの不備）で、当初の椅子が変更されているのに、なぜ増額分の114万円を菊池市が払わないといけないのか。

市長 今回の入札は、注文した備品の中に、海外の製品が多数入っており、地元企業でこうした海外の製品を含めた取り扱いを行うというのは、非常に難しいところだが、中小企業振興、地場育成という観点から、あえて地元の中小企業に入ってもらった。

そして、デザインをした乃村工芸社に、海外メーカーとのつなぎをしてもらうように仕様書の中に入れて、入札者全員が了解した上で入札を行った。

受注者の教育産業者は、乃村工芸社経由あるいは直接大丈夫ですねということで、見積書ももらっているが、椅子メーカーの本社・支社間の調整不足によって、受注者が知らないところで大量注文があつて、納期内に物を納められないということが起きてしまった。

そして、もう一つ大事なことは、開館日が迫っており、全体のスケジュールを遅らせるとなると、さまざまなロス、トラブル等が発生したわけ、こうしたことを考えて、取り消しに当たる事由ではなく、変更である。その変更が可能かどうかは約款の第7条に定めてあるので、どうかご理解いただきたい。

健康推進まちづくりの 取り組みについて



福島 介護サービスを必要としない元気な高齢者（例えば90歳以上）を対象に、また、中学生以下の医療費完全無償化の期間に医療機関を利用しなかった中学生以下の子供たちを対象に、ありがとうの気持ちを伝える意味でも、何らかの報奨制度が作れないか。

健康福祉部長 今後も、高齢者の方がいつまでも生きがいを持ち、幸せに元気でいられ頑張れるよう取り組みを推進していきたい。

報奨制度ではないが、現在準備中である「健康づくりポイント事業」において、健康づくりや介護予防活動について、ポイント付与等を協議中である。

中学生以下については、子ども医療費助成事業の趣旨である疾病の早期治

療の促進や健康で健全な育成を優先的に考え、乳幼児健診や予防接種を勧めながら、実施していきたい。現段階においては、報奨制度実施については考えていない。

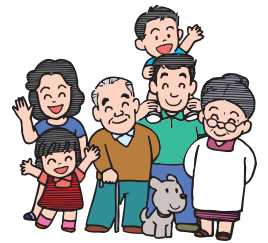
菊池市への観光客をいかにして増やしていくか

福島 菊池市の魅力を改めて問うとともに、その魅力をどのように観光客の集客に活かしてきたのか。

経済部長 日本名水百選の一つである「菊池渓谷」をはじめ、恵まれた自然や、菊池一族の歴史と文化、日本名湯百選の「菊池温泉」、さらには豊かな水資源と肥沃な大地により生産される豊富な農林畜産物などが、大きな魅力となっている。

渓谷は、熊本地震から入谷が禁止となっていたが、本年3月の再開以来、例年以上の観光客が訪れており、癒しの観光スポットとして、改めてその魅力を発信している。

福島 海外からの観光



客をターゲットにした取り組みは行ってきたのか。また、インスタ映えコンテンツ等、待ちの姿勢ではなく仕掛ける仕組みが必要だと考えるが、本市の考えを示せ。

熊本空港に定期便が就航し、今後も観光客の増加が期待できる台湾をターゲットとして、熊本県北観光協議会で、現地において積極的な誘致活動を行っている。また、外国人観光客の誘致対応も、英語、韓国語、中国語で翻訳した観光パンフレットの作成や、指さし会話帳などを準備し、受け入れ態勢の充実を図っている。

市長 これまで、もう少しアナログのフォトコンテンツや私のお薦めスポットコンテンツを市民参画型でやってきたが、ご提案のインスタ映えコンテンツは、非常に今の時代にマッチしたことはないかと思う。参画者が中心になる可能性はあるが、ご提案の一つとして検討させていただきたい。

後期基本計画について



平 誰のための計画か。また、PDCAとあるがそのサイクルの実情は。本計画においてPDCAのあり方とは。

政策企画部長 誰もが安心して、安全に暮らせる「癒しの里きくち」を実現するための計画であるので、市民のための計画と考えている。

市長 PDCAについては、総合計画でつくったものを反映した年度の計画を部署ごとにつくって、それを3カ月ごとにレビューしていく。修正があれば、それを反映していく。

ただ、役所のPDCAは相当遅く始まっており、そこを本当に自分事として定着させていくことには、最初は時間がかかっているが、少しずつPDCAが回ってきているのではないかと思う。

健康福祉部長 過去5年間は、平成25年度が35件、平成26年度が24件、平成27年度が42件、平成28年度が28件、平成29年度が58件と、増加傾向にある。

一時保護所は児童相談所が設置するもので、本市にはないが、県内に1カ所ある。

養子縁組や里親制度については、熊本県では児童相談所と県が委託した児童養護施設が相談窓口となっている。

現在、菊池市内の里親の登録は6組で、実際に里親として児童を養育している方は2組で、広報紙による啓発などを実施している。

平 自分から声を上げられない子どもを守るための取り組みは。また、通報者の秘密保護は。市長の今後の方針は。

健康福祉部長 児童に



身近にかかわる関係機関では、早い時期での虐待のサインを見逃さないために、着がえのときや、傷やアザなどがないかを観察して、子どもの訴えに耳を傾けるなどの対応をして、気になるケースは、市に相談や通告をしていただくことになっている。

相談をちゅうちよされる場合もあるかと思われるが、相談者や相談内容がほかにも知られることはない。子どもたちの命を守るために匿名での相談も受け付けている。

市長 虐待の未然防止を第一に考えたい。虐待のリスクの高い家庭への支援を行いたいと思う。児童虐待が発生した場合、子どもたちの安全確保を最優先に、必要な場合にはちゅうちよなく介入して、一時保護を行いたい。今後も虐待死亡等の事例が発生しないように、関係機関と連携して対応していくとともに、社会全体で児童虐待を防止するという認識で、虐待問題の啓発にも一層力を入れていきたい。

七城町、新古閑長田線の整備について



坂本 菊池市道路マスタープランの中で、計画路線に挙げられている。緊急車両が、七城町へ最も早く到着できる「命をつなぐ道路」であり、熱中症での緊急搬送が増えているため、早期の整備が必要だと思うが。

市長 新古閑長田線については、七城地区への緊急車両のアクセス道路として重要な路線であると認識している。

また、道路整備の指針となる菊池市道路整備マスタープランの中でも、新規計画路線として位置づけている。今後、地元との対話を重ねて、双方が納得できる形で整備を目指していきたい。

坂本 第6回菊池米食味コンクールと第2回九州のお米食味コンクールが11月16、17日に開催される。今年の2つの大会の目的、今までの成果は。

経済部長 菊池米食味コンクールは、米生産者の良質米づくりへの意識の高揚と、菊池米のブランド化並びに消費者へ向けたPRによる消費拡大を目的としている。

第3回コンクールから取引の商談につながり、東京都内や沖縄県内の米穀店との高価格取引などがなされている。

九州のお米食味コンクールは、九州のお米を一堂に集めることで、産地間での情報交換の機会をつくり、さらなる良質米づくりへの意欲と技術を高め、九州産米の市場評価を得ることで販路の拡大に繋げることを目的としている。

九州管内はもとより、全国の消費者・米流通関



▲新古閑長田線

係者へ向け、九州産米の信頼を高める効果につながったものと思われる。

政府の成長戦略の目玉である「スマート農業」について

坂本 日本農業の課題に対し、ドローンや情報通信技術（ICT）を活用していくために菊池市でもJAや農業者と共に早期に協議会を立ち上げてほしいが。

経済部長 ドローンや自走式の草刈り機は、労働力の軽減と耕作放棄地の防止や解消の対策の一つとして期待している。

今後は、ドローンに加え、リモコン式自走草刈り機の活用も含めて、県やJA等の関係機関や関係団体と導入の可能性も含めて協議していきたい。

第2次菊池市総合計画・後期基本計画における農業施策について



緒方 未来につながる農業力のあるまちづくりを目指す中で、農業施策における高齢生産者への支援について。

経済部長 本年度、農産物等ビックアップサイビスモデル事業を実施している。

この事業の主な内容は、物産館への農産物等の出荷が困難な生産者の自宅や圃場を巡回し、農産物や加工品の集荷を行うことや、市外への出張販売を行うものである。

今後、このモデル事業の結果を踏まえ、高齢者の出荷対策や出荷農産物の減少に対応した体制づくりを関係団体と検討し、本市の農業振興を図りたい。

菊之池小学校校舎増床工事について

緒方 地域の方々も関心を持って見守っている菊之池小学校の増床工事が始まっているが、その進捗状況と保護者や地域の方々に対する説明会の開催について

教育部長 来年の2月28日までを工期としており、増築建物の規模は、木造平家建てで、教室を3部屋、男女別のトイレと多機能トイレを各1カ所備え、面積は331平方メートルとなっている。

現在、工事は工程表の予定どおりに進捗しており、上下水道の配管工事や基礎コンクリート工事に着手をしている。

説明会については、地域に対しては、菊之池小学校学校評議員会にて、平成29年度は3回、増築工事についての説明を行っている。

また、学校や保護者に對しても、授業参観や学



▲校舎の増床工事が行われている菊之池小学校

校作業等の保護者が集まる折に、学校長より説明を行っており、要望等は、学校長と密に調整を行いながら設計内容に反映してきた。

花房中部2期地区畑地帯総合整備事業について

緒方 事業期間が延びている中、創設換地の不換地の方への清算はどうにかできないか。

経済部長 土地改良法で仮清算ができる条件は、換地計画が定まっております。かつ、当該従前地の全てについて、質権や抵当権等が設定されていない場合に限られています。

このことから、工事が完了していないと換地が確定しないため、換地計画が定められず、現時点においては、仮清算は実行できない。

今後は、早期の事業完了に向けて県と連携しながら進めていく。

つまごめ荘民営化について



て、これまでと同様に報告を行いながら、安心感を持っていただくように進めていきたい。

猿渡 8月21日、つまごめ荘実施計画が決定されている。民営化を進める責任者としての市長の考えを問う。まず、少なからず不安を持たれている入居者や家族の方々に対し、どのような考えを持っていくか。

猿渡 現在つまごめ荘で働いている職員については、どのように考えているか。

市長 正規職員で、市役所の事務職等に職種変更を希望する職員に対しては、各種研修や定期的な相談、ヒアリング等により、業務面、精神面でもサポートを行う。

また、任期付き職員、嘱託職員、臨時職員については、移譲法人への再就職を希望する職員に対しては、その優先雇用を公募条件としていきたい。職員の処遇については、不安感がないように、個人の事情や希望によく耳を傾けて、丁寧に対応していきたい。

市長 まず利用者の方々、ご家族の皆様には大変ご不安であったであろうということは、察するに余りあるところである。そうしたご心情も踏まえ、つまごめ荘を民営化する際の考え方については、これまでご家族が不安となられないように、丁寧の説明を行ってきた。

今後、民営化に着手するに当たっては、引き続き適宜適切な機会を設けていく。



▲つまごめ荘

たり、市民に対してどう説明するか。

市長 つまごめ荘は、昭和50年の事業開始以来、数十年にわたって他の市内高齢者施設と同様のサービスを提供してきた。しかし、高齢化の進展に伴い、同様の業務を扱う民間業界が急速に発展してきた。

今、この特養施設が、県内で215施設のうち、公営施設はもう4施設になっており、民間に移譲をしていく環境が十分に整っていると思う。

これから民営化を進めていく上において、これまでつまごめ荘が培ってきた質の高いサービスを安定的、永続的に提供できるような、移譲先法人の選定を慎重に行っていく。

猿渡 40年以上にわたって地域介護の拠点であったつまごめ荘が大きく運営の形を変えるにあ

たり、市民に対してどう説明するか。

市発行の刊行物を集約して 労力の軽減はできないか



付物を減らすことも検討すべきと思うが、市長の見解は。

大賀 市発行の刊行物を集約して少なくすることで、区長や班長の労力軽減を図ることも必要と思うが、市の考えは。

総務部長 平成29年5月に区長会からも区長文書の量が多過ぎるという意見をいただいている。市民へお知らせする行政情報等については、各戸配付文書や回覧文書でなく、広報紙になるべく掲載をするように努めている。

今後、関係機関からの個別配付、回覧文書についても、配付量の減量に向けて、調整をしていきたい。

大賀 今後はタブレット端末やスマートフォンを活用して、家庭への配

市長 今回、まさにこういうICT機器をどう行政に活用していかうかというところで、民間と提携をしていくので、そこからまた新しいさまざまな知恵なり、新しい技術等についてのアドバイスをいただけるのではないかと期待している。

特定外来生物について 県内では特定外来生物の生息域の拡大の危機が迫っていると聞いている。本市でもアライグマやセアカゴケグモの生息が確認されたと聞いたが、市は把握しているのか。また、その対策は。

市民環境部長 アライグマは平成26年に市内で確認されているが、その後の確認はされていない。平成27年度、28年度において、熊本県アライグ

マ防除体制強化事業に取り組み、箱かなによる捕獲と見回りやカメラ設置による生息調査をあわせて実施しているが、生息は確認されず、平成28年度をもって事業を終了した。

引き続き、県や関係市町村と情報を共有しながら、注視していきたい。セアカゴケグモの調査については、平成29年11月2日、県庁担当者、東海大学関係者等と調査を行っている。

東海大学の教授の見解によると、今回は輸送されてきた木材に偶然紛れて発見されたものだと推測され、調査では、多個性、卵、巣等は発見されなかったもので、定着はしていないと判断されるため、消毒を行うならば、巣をつくりやすい敷地内の側溝程度で大丈夫であろうという答えが出ている。



ICT（情報通信技術） インフラの戦略的活用について



田中 菊池市におけるICTインフラの整備状況について。

政策企画部長 本市の光ブロードバンドのエリアカバー率は、平成30年7月末現在で、世帯数での割合として99・58%となっている。

WiFiの整備状況は、市では、無料公衆無線LANサービス「くまもとフリーWiFi」の設置状況しか把握できていないので、その状況は8月15日現在で、文化会館や各公民館、移住・定住支援センター、きくち観光物産館や七城メロンドームなどの物産館、七城温泉ドーム、菊池渓谷館、龍龍館などの観光施設などの公共施設については15施設、市内のホテルなどの民間については

4施設、合わせて19施設となっている。

田中 ICTインフラは道路や水道・電気と同様、重要なインフラである。その整備によって観光や防災などの課題解決に役立つと考える。今後のICTインフラの充実を図る上で、市長が考える理想像や戦略を聞く。

市長 少子高齢化・人口減少と、いろいろな問題が起きて、従来の手法だけでは解決できない課題がたくさんふえてきている。しかし、ICTの急速な進展で、今まで、もうだめかもしれないと思っていたことが、例えば自動処理や自動運転まで出てきて、新しい解決方法がたくさん出てきている。

特に中山間地は問題が集約しており、そこにICTをどう使っているか、一つ一つ潰していけば、かなり汎用性の高い解決策につながる可能性がある。



そこで、今般、グローバルヴィレッジ構想というものを国に提案して採択された。

それを農業により絞った形で、ICTの活用というところで提案したのがアグリサイエンスパーク構想であり、これも国から採択を受け、これの一つの具体的なたたき台として、これから進めていく。

構想を具体化していく中では、協力いただく企業と一緒に進んで、検討に入っていく。

それから、それを推進しようとしている市役所自体の業務をどうICT化していくかは非常に重要だと思っており、それは働き方改革にもつながっていく。したがって、先般、ソフトバンクと包括的な連携協定を結んでおり、さまざまな専門的なアドバイスをいただきながら、具体的に变革していきたい。

軽トラ朝市終了による 市への影響と 今後の再開の計画は



木下 平成21年より中心市街地を活性化する目的で始まった軽トラ朝市が7月に資金難で終了した。市民をはじめ出店者からは再開を求める声があるが、軽トラ朝市の閉店による市への影響と今後再開の計画は。

市長 軽トラ朝市の果たす役割は人々の交流の場にもなっていたので、また復活してほしいと強く考えている。

やはり地元商店街の方を中心に考えていただき、それに市、そしてまた、市民、全員で応援していくということが一番長続きする。今、若手の方が中心になって、いろんなアイデアを模索されていると聞いており、まずはそのアイデアを待つて、内容について、しか

るべきであれば、積極的に協力、支援をしていきたい。

木下 千畳河原は菊池川上流の滝集落に位置しており、産さん滝、産さん神社と共に市のすばらしい自然を生かした観光地であるが、トイレの改修、葎の除草等の公園整備の必要性があると思うが対策は。

経済部長 農村公園や駐車場、産さん滝までの遊歩道や、公園より上流の右岸側の一部について、草刈り等を地元委託して、維持管理を行っている。

また、今後の整備については、農村公園のトイレにおいて、一部、補修が必要となっている箇所があるので、その補修の実施と、また、中のほうが暗いということ、照明等の交換を考えている。今後、来訪される方が気持ちよく過ごしていただけるように努めてい



▲葎が繁茂した千畳河原

木下 地籍調査は土地に関する戸籍に当たるもので、市の発展に必要な不可欠な事業であるが、現在、旧菊池市の部分が大幅に遅れており、計画どおりに調査ができていないとのことだが今後の計画は。

市民環境部長 地籍調査は、既に旧七城町は昭和47年度、旧泗水町は平成9年度、旧旭志村は平成19年度に完了している。平成29年度末の市全体の進捗率は66%、旧菊池市のみの進捗率は47%となっている。

今後の計画は、平成31年度までに、木柑子、原、小木地区を引き続き調査していく方針であるが、その後、原、小木地区の一部、重味・龍門地区など順次調査を進めていく予定である。

議 会 の 動 き	9月	15 土	全国ポート場所在市町村協議会・第14回議長懇話会（滋賀県大津市） 第27回全国市町村交流レガッタ大津大会～16日まで（滋賀県大津市）
		21 金	議会運営委員会
		27 木	議会報告会運営会議
	10月	2 火	総務文教常任委員会視察研修～4日（長野県大町市・山梨県甲府市）
		5 金	韓国金堤市「地平線まつり」・韓国清州市「生命米・大清湖マラソン大会」～8日まで
		10 水	熊本地震からの復旧・復興特別委員会
		11 木	熊本県市議会議長会～12日まで（八代市）
		14 日	首都圏七城会（東京都）
		15 月	議会広報特別委員会
		16 火	議会運営委員会／議会報告会運営会議
		17 水	福祉厚生常任委員会視察研修～19日（新潟県見附市・十日町市）
		22 月	第3回臨時会／月例会／議会広報特別委員会
		24 水	東京都立川市議会より行政視察（菊池市地域支え合いセンターについて、 きくち防災・行政ナビについて）／経済建設常任委員会視察研修～26日 （岐阜県下呂市・愛知県田原市）
		30 火	高知県室戸市議会より行政視察（あいのりタクシー・べんりカーについて）

議長交際費を公表します

議長交際費の平成30年8月1日から9月30日現在の支出状況を公表します。議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動をするために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めております。

議長交際費の支出状況

交際費の項目	件数	金額	詳細
会費	1件	4,500円	公的性格を有する団体との協議会費及び負担金
電報代	1件	592円	他自治体の長・議長への祝電等の経費
その他	1件	20,000円	他自治体への研修および議長会等経費
計	3件	25,092円	

議会傍聴をお待ちしています！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。昨年の12月定例会からは議場（本庁3階）のリニューアルにより、傍聴席はバリアフリー対応となっております。皆様のお越しをお待ちしております。また、各支所でも生中継でご覧いただけます。

9月定例会においては延べ85名の傍聴がありました。



議会をインターネットで！

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと議会録画映像を見ることができます。

使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局／TEL25-2325

菊池市議会 議会映像 検索



県知事への要望活動

8月23日に県庁において、県下14市の議長が蒲島県知事に対し要望活動を行いました。県北6市の議会からは、「熊本県北地域の地域振興の促進について」下記のとおり要望しました。

記

1 農畜産業政策について

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）については、昨年1月にアメリカが離脱した後も、アメリカを除く参加11か国での発効に向けた調整が進められている。昨年11月のダナンでの閣僚会合で大筋合意に至り、今年3月チリでTPP11協定が署名された。また一方で、日本とEU（欧州連合）のEPA（経済連携協定）が、昨年7月大枠合意、12月には交渉妥結し、今年7月には署名に至った。今後、国内においては欧州産の輸入拡大の影響も懸念され、農畜産業の更なる振興策が強く求められる。国内有数の農畜産業地帯である熊本県北地域にとって、TPP・EPAに伴う農畜産業対策は喫緊の課題であり、基盤整備、国際競争力の強化、その体制整備について、県の積極的な政策展開と支援をお願いしたい。

2 災害に強いまちづくりの推進について

近年、集中豪雨や短時間豪雨の発生頻度が増加し、都市型水害、河川の氾濫及び土砂災害が多発する傾向にある。熊本県北地域は、平成24年7月の「九州北部豪雨災害」により甚大な被害に見舞われたことは、未だ記憶に新しいところであるが、昨年7月の「九州北部豪雨災害」に続いて、このたびの「西日本豪雨災害」では西日本の多くの地域で河川氾濫や土砂災害が発生し、再び甚大な被害をもたらしている。雨水の制水や治水は、水害・土砂災害対策を進める上で最重要課題であり、人命と財産を守るためにも、洪水浸水を想定した河川改修や堤防・護岸による流域整備、砂防えん堤等の施設整備、老朽化している水門・樋門・排水機場の更新事業に早急に取り組んでいただきたい。

このほか「3 交通の利便性の向上について」、「4 大河ドラマを生かした観光活性化と地域振興について」の要望も行いました。

全国市町村交流レガッタ大津大会

市議会議員チーム「菊池ドラゴンズ」が参加！



滋賀県大津市の琵琶湖漕艇場で9月15日、16日に開催されました。ここは琵琶湖と瀬田川の境界に位置し、関西を代表する、ボート・カヌーの専用コースとして知られています。例年、数多くの全国規模の大会や、子ども・大人を対象とするボート・カヌー教室を開催し、湖上スポーツの普及・振興の場として活用されています。

本市からは、市議会議員の部に1クルー、熟年男子の部に1クルー、熟年女子の部に1クルーが参加しました。成績は、議会議員の部には

16クルーの参加があり（うち1クルーは欠場）、「菊池ドラゴンズ」は予選C組で5位となったため、決勝へは進めず交流戦へ回り、交流戦B組3位でフィニッシュしました。熟年男子の部に出場した「菊池おっさんがクルー」は予選で敗退し交流戦まで、熟年女子の部に出場した「菊池よかおなごクィーン」も予選で敗退し交流戦までで競技を終えました。

大会期間中、全国から参加されたチームと親睦を深め、また全国市町村交流レガッタ大会を菊池市で開催できるよう、大会の誘致活動を行いました。皆さんの応援ありがとうございました。



「地域を元気に」 熊本市議会議員研修会



熊本市議会議員研修会（会長・くつき信哉熊本市議会議長）が、8月20日熊本市のホテルで、県下14市の市議会議員及び事務局職員が参加して行われました。

この研修会は、県下の市議会議員の資質の向上のため、また、地方議員として研鑽を重ね住民ニーズを的確に把握し、議会の活性化を図るために毎年開催されています。

研修会では、講師に精神科医で相愛大学、高野山大学客員教授の名越康文氏を招き、『地域を元気に～心がフッと軽くなる「瞬間の心理学」～』と題して講演会がありました。

名越氏は、「人には内側の心（＝自己）と外側の心（＝自我）があり、心を落ち着かせる習慣を全く持っていない人は内側の心に気づけない。自我には、心配、怒りなどの感情が渦巻いている。趣味があってその趣味に没頭しているときには、何もかも忘れて心が落ち着き、自我がきれいにリセットされる。自我をリセットする習慣ができていない人は、本来の自分である自己が、自分にいろいろなものを教えてくれる。自己と自我は真逆で、自我は私利私欲に駆られている。自己は温和で勇気があり、人との輪を大切に、許す心を基本にしている。我々が本当の成功を求めるためには、自己を目覚めさせるしかない」と話されました。

また、「心の力を鍛えるには朝がいい。朝、自分の心を落ち着かせる時間を持つ、そして朝運動をするということが、人生に勝利する道であるとたくさんの偉人が言っている。日本は全く逆のことをして、夜更かしで運動をしない民族になっている。しかし、朝活がいいからと言って無理やり早く起きるのではなく、睡眠時間はたっぷり取って朝方に変えないといけない。早く寝て早く起きて朝から機嫌がいい状態をつくる。機嫌がいいと脳の活性度も高く、周りの人にもいい影響を与える。朝活を地域社会に根付かせることができないか」とも話されました。



議会用語の解説

せんけつしよぶん 専決処分	議会の議決または決定すべきことについて、市長が議会に代わって処分することです。議会を招集する時間がないときなどに行うものと、議会の議決によりあらかじめ指定したものがあります。
ぜんいんきようぎかい 全員協議会	議員全員で行うもので、その限りでは本会議と同じですが、一般的には、市政に関する重要な事件や市議会内部の処理事項について、報告、協議するために開かれます。
ていそくすう 定足数	会議を開くには、一定以上の議員が出席しなければなりません。この最小限必要な出席議員の数のことです。定足数は特別な場合を除き、議員定数の半数以上となっています。
ていれいかい 定例会	定例的に招集される議会のことで、条例で年4回と定められています。菊池市では、通常3月、6月、9月、12月に開かれます。
とうろん 討論	議題となっている案件について、採決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。
とくべついいんかい 特別委員会	常任委員会に対し、必要のある場合や特定のものを審査するために設置されている委員会のことです。

議会報告会開催のお知らせ

菊池市議会では、開かれたわかりやすい議会を目指し、下記のとおり議会報告会を開催します。

なお、例年この報告会は、旧市町村ごとに開催しておりましたが、本年から新たな試みとして、各種団体との意見交換会を実施するため、本年の議会報告会は市内のすべての皆さんを対象に、七城公民館1箇所のみでの開催となります。ご理解のほど、よろしく申し上げます。

市民の皆さんの多数のご参加をお待ちしています。

日 時	会 場
11月19日（月）午後7時～	七城公民館 講堂

平成30年12月定例会日程の予定

月日	区分	日 程
12月3日	本会議	開会・会期の決定・議案上程・提案理由説明
(12月4日～5日 休会)		
12月6日	本会議／委員会	質疑・委員会付託／予算決算常任委員会
12月7日	本会議	一般質問
(12月8日～9日 休会)		
12月10日	本会議	一般質問
12月11日	本会議	一般質問
12月12日	委員会	常任委員会（予算決算分科会） ・総務文教 ・福祉厚生 ・経済建設
12月13日	委員会	常任委員会（予算決算分科会） ・総務文教 ・福祉厚生 ・経済建設
(12月14日～17日 休会)		
12月18日	委員会	予算決算常任委員会
(12月19日～20日 休会)		
12月21日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

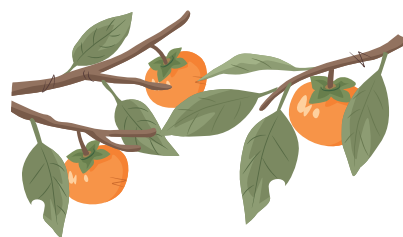
※日程については、変更になる場合があります。

【お詫びと訂正】

議会だより Vol.54（平成30年9月1日号）の表紙に誤りがありました。

本来は清田実那さんの作品を掲載すべきところを、誤ってVol.53（平成30年5月1日号）で掲載した作品を、再度掲載してしまいました。

清田実那さんの作品は、今回の表紙に掲載しています。お詫びして訂正いたします。



編集後記

これから2年間、広報委員として活動させていただきます。

今回、8月6・7日の日程で宮崎県小林市・鹿児島県伊佐市へ視察研修に行きまして。両市とも広報活動を活発にされており、委員会組織の違いはありましたが、内容はそれぞれに特色があり、私たちも良い刺激を受け、たくさんの意見やアイデア等を聞き、今後の取り組みの参考とすることができました。

この「議会だより」の広報誌を通して、議会の役割や必要性などを1人でも多くの市民の皆様に伝えていけるよう、また1人でも多くの市民の方々に読んでいただけるよう編集に取り組みたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

緒方 哲郎



■議会広報特別委員会■

委員長 / 水上 彰澄
委員 / 田中 教之

副委員長 / 緒方 哲郎
委員 / 福島 英徳